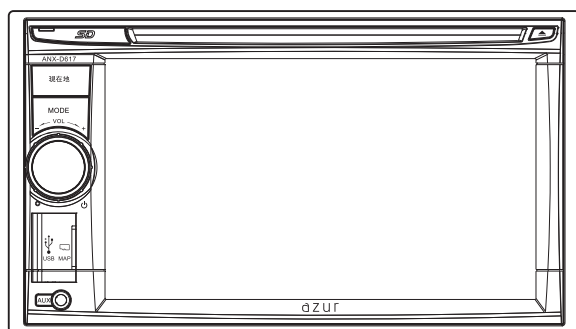


āZUR

ワンセグチューナー内蔵メモリーナビゲーション ANX-D617



取扱説明書



保証書別添付

このたびは、ワンセグチューナー内蔵メモリーナビゲーションをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

目次

はじめに

■安全上のご注意（必ずお守りください）	1
■商品構成一覧表	4
■各部の働き	7

操作方法

■基本操作	8
■テレビを観る	13
■ラジオを聴く	15
■メディアを再生する	17
■オーディオ設定	30
■本体設定	32

付属品の使用方法

■電源、ケーブルの接続方法	42
■本体の設置方法	44
■フィルムアンテナについて	45
■フィルムアンテナの構成	46
■貼付位置について	47
■フィルムアンテナを貼り付ける	48
■アンプホルダーを給電部に貼り付ける	49
■アンテナケーブルを固定する	50
■アンテナ端子を接続する	50
■トラブルシューティング	51
■本機で利用できるメディアとフォーマットについて	54

仕様	55
----	----

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■読んだ使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明します。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明します。（次は図記号の例です）

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

 気をつけていただく内容です。

警告

**必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する**

 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご依頼ください。
(規定容量：15A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない

 **禁止** 運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ハンドル付近など）前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

 **禁止** ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

 **禁止** 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

 車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

 ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

警告

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける



車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12Vマイナスアース車で使用する



DC 12V マイナスアース車専用です。上記以外のお車には使用出来ません。火災や故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない



煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

禁止

- 直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない



内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

分解禁止

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

キャップなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない



禁止

あやまって、飲み込むおそれがあります。万が一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがからないようにご注意ください。

大きな音量で使用しない



禁止

車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う



説明書に従って正しく配線・取付をしないと火災や事故の原因となります。

使用しないコードの先端などは、絶縁する



被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス⊖端子を外しておく



バッテリーのマイナス⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

注意

本機の通風孔を塞がない



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する



取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

●安全のため、買い上げの販売店にご依頼ください。

車載用以外には使用しない



車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

禁止

強い衝撃を与えない



落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

禁止

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけない



ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

禁止

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けない



直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

禁止

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない



雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

禁止

振動の多いところや不安定な場所に取り付けけない

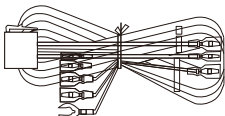
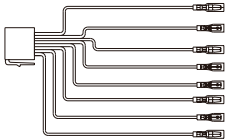
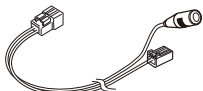
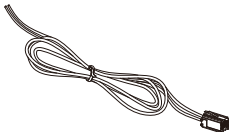
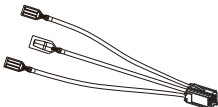
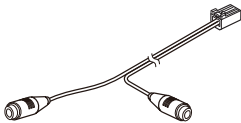


傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

禁止

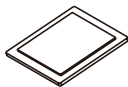
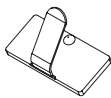
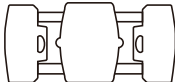
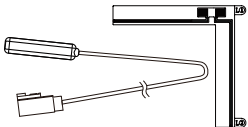
商品構成一覧表

本機には、次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。万が一、足りない場合や破損していた場合は、販売店またはサービスセンターまでご連絡ください。

■ 本体 	■ 取扱説明書 
■ ナビゲーション取扱説明書 	■ 保証書 
■ 電源ケーブル 	■ スピーカーケーブル 
■ DVRコントロールケーブル 	■ パーキングブレーキ/バック信号入力ケーブル 
■ ステアリングケーブル 	■ カメラ入力/ビデオ出力ケーブル 

※ パーキングブレーキ/バック信号入力ケーブル、DVRコントロールケーブル、ステアリングケーブル、カメラ入力/ビデオ出力ケーブルは一体型で付属しています。

商品構成一覧表(つづき)

■ GPSアンテナ (固定用3Mテープ付) 	■ GPSアンテナ固定用プレート (3Mテープ付) 
■ 固定用クランパー 	■ 配線止めクリップ 
■ クリーナー 	■ 地図microSDカード  (本体に収納)
■ 取り付け用ネジ (長：8本/短：8本) 	■ フィルムアンテナ 

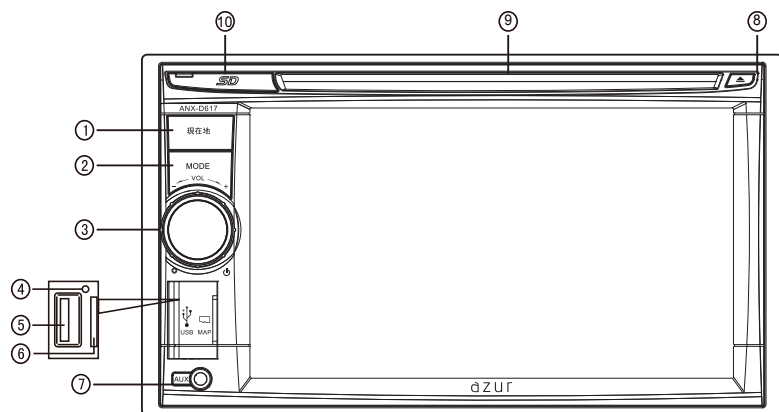
商品構成一覧表(つづき)

⚠ 使用のご注意

地図専用microSDカードについての注意事項

- 本体に内蔵しているmicroSDカードは地図専用となりますので、メディアとしての使用はできません。また、データの消去は絶対に行わないでください。
- microSDカードは直射日光のあたる場所など、高温になる場所に置かないでください。故障や変形の原因となることがあります。
- microSDカードの端子に、手や金属で触れないでください。故障の原因となることがあります。

各部の働き



- 1 現在地ボタン
ナビモードに切り替えます。
- 2 MODEボタン
モードを切り替えることができます。
- 3 電源/音量ノブ
スタンバイ状態でこのボタンを短く押すと、電源がオンになります。
起動状態でこのボタンを2秒以上押すと、電源がオフになります。
左右へまわすと、音量の調整ができます。
このボタンを短く押すと消音になります。再度短く押すと消音が解除できます。
ナビモードで音声案内中に音量調整すると、ナビガイド音声を調整することができます。
- 4 リセットボタン
このボタンを押すと、工場出荷状態（初期化）に戻ります。
※ナビゲーション設定は初期化されません。
- 5 USBポート
USBデバイスをここに差し込みます。
- 6 microSDカード挿入口
※地図データが書き込まれている専用microSDカードが収納されています。
※更新作業以外は抜き差しをしないでください。
- 7 フロントAUX入力端子
フロントAUX入力端子です。3.5mmステレオミニジャック対応です。
- 8 イジェクトボタン
ディスクを取り出せます。
- 9 ディスク挿入口
ディスク（DVD/CD）の挿入口です。
※ディスクを挿入する前に、本体上部の運送ネジを取り外してください。
※運送ネジが装着されている状態では、ディスクを挿入する事ができません。
- 10 SDカードスロット
SDカードをここに差し込みます。

基本操作

電源の ON/OFF

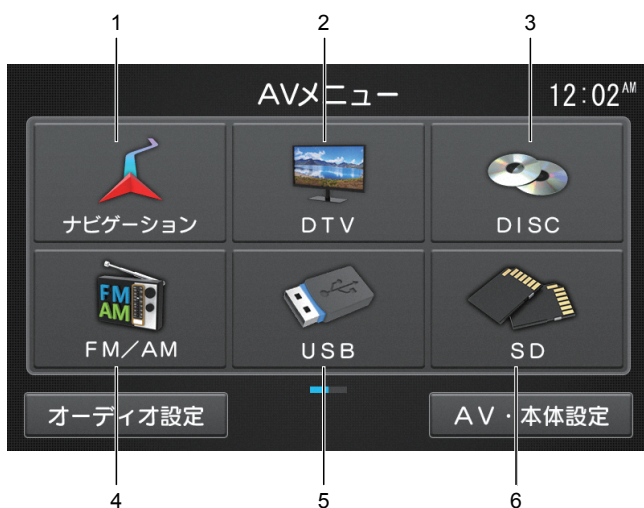
- 1 電源を入れる
イグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、電源がONになります。
エンジンをかけ、本体が通電してオープニング画面が表示され、
メインメニュー、地図またはオーディオ画面などが表示されます。
2回目以降に本機を起動した場合は、前回電源を切る前のモードで起動します。
- 2 電源を切る
イグニッションキーを「OFF」にすると、電源がOFFになります。
本機の電源がオンの時に、電源ボタンを長押しすると電源が切ります。

※ 電源を切る時には、音量を最小にしてください。電源ON時に大音量が出力され、
運転の妨げや聴覚障害などの原因となることがあります。

基本操作(つづき)

メインメニュー

メニュー画面1



メニュー画面2



基本操作(つづき)

メインメニュー内のアイコンをタッチすると、タッチしたモード画面が表示されます。

ナビゲーション

- 1 ナビゲーションモードを表示します。
メニューを押してから「終了」ボタンをタッチすると、メインメニューに戻ります。



DTV

- 2 テレビモードを表示します。



DISC

- 3 DVDモードを表示します。
ディスクを入れていない場合、「ディスクがありません」と表示され、操作なしで10秒後に前のモードに戻ります。



FM/AM

- 4 ラジオモードを表示します。



基本操作(つづき)

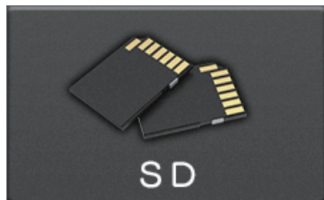
USB

- 5 USBモードを表示します。
デバイスと接続していない場合、「デバイスがありません」と表示され、操作なしで10秒後前のモードに戻ります。



SD

- 6 SDモードを表示します。
デバイスと接続していない場合、「デバイスがありません」と表示され、操作なしで10秒後に前のモードに戻ります。



VTR

- 7 「VTR」アイコンをタッチすると、リア外部入力に接続されているオーディオやビデオの画面が表示されます。オーディオやビデオの入力信号がない場合、「信号がありません」と表示されます。
※AVソース画面や設定画面において、「AV-IN」という表示項目がありますが、「VTR」ソースを指します



AUX

- 8 「AUX」アイコンをタッチすると、フロント外部入力に接続されているオーディオやビデオの画面が表示されます。オーディオやビデオの入力信号がない場合、「信号がありません」と表示されます。
※AVソース画面や設定画面において、「AUX-F」という表示項目がありますが、「AUX」ソースを指します



基本操作(つづき)

DVR

9

別売のドライブレコーダーと接続している場合、ドライブレコーダーモードに切り替わります。
ドライブレコーダーと接続していない場合、このアイコンをタッチすると、「信号がありません」が表示されます。



AUDIO ON/OFF

10

AVソースの音声出力のON/OFFを切替えます。
Audio On：音声出力されます。
Audio Off：音声出力はミュートされます。
※Audio Offであっても、ナビガイド音声はミュートされません。



オーディオ設定

11

イコライザー設定画面に切り替わります。

オーディオ設定

AV・本体設定

12

本機の設定画面に切り替わります。

AV・本体設定

時刻表示

13

現在の時刻を表示します。

8:30 AM

テレビを観る

メインメニュー画面の「DTV」ボタンをタッチすると、テレビ画面が表示されます。テレビ信号がない場合は、「信号がありません」と表示されます。

- チャンネルサーチについて
初めてごテレビの機能をご使用になる場合は、チャンネルサーチの実行が必要となります。また、以下の場合においてもサーチ実行が必要となります。
 - ・ テレビ設定の初期化を行った場合
 - ・ 別のエリアに移動した場合
- コントロールパネルについて
操作をしない状態が約5秒続くと、コントロールパネルが非表示となります。コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。
- 走行規制について
走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。停車中でパーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

DTV基本画面1



DTV基本画面2



テレビを観る(つづき)

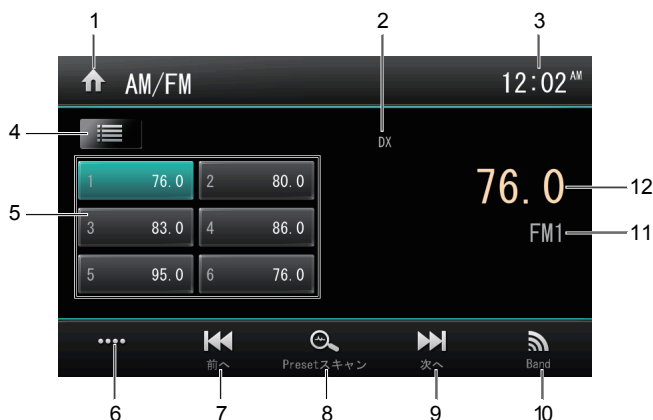
- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 受信レベル
現在の受信状態をアイコンで表示します。
- 3 時計表示
現在の時刻を表示します。
- 4 コントロールパネルオープン/クローズボタン
コントロールパネルの開閉ができます。
- 5 7 前へ/次へボタン
放送番組を変更します。
「前へ」ボタン：前のチャンネルに戻ります。
「次へ」ボタン：次のチャンネルに進みます。
- 6 スキャンボタン
チャンネルスキャンを行います。スキャンが終了すると受信可能な番組が表示されます。
- 8 チャンネルリストボタン
現在受信しているチャンネルリストが表示されます。
上下ボタンで表示されたチャンネルリストの中から、見たいチャンネルを2回タッチします。
左上の  ボタンをタッチすると、テレビ画面に戻ります。
- 9 番組表ボタン
現在受信中のチャンネル番組一覧が表示されます。
 と  ボタンで、スクロールして、番組名をタッチすると、詳細情報が表示されます。
左上の  ボタンをタッチすると、テレビ画面に戻ります。
- 10 音声ボタン
番組に複数の音声がある場合に主音声（M）/副音声（S）を切り替えることができます。
※切替の内容や順序等は放送している番組によって異なります。
（工場出荷時：主音声）
- 11 字幕ボタン
番組に複数の字幕がある場合に字幕のON/OFFを切り替えることができます。
※切替の内容や順序等は放送している番組によって異なります。
（工場出荷時：OFF）
- 12 初期化ボタン
テレビの全ての設定を初期化（工場出荷状態）します。

ラジオを聴く

FM/AMの画面

メインメニュー画面の「FM/AM」をタッチすると、ラジオモード画面に切り替わります。

FM/AM基本画面1



FM/AM基本画面2



- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 LOC(DX)ボタン
スキャンボタンによる自動サーチをした時、各モードによってサーチの方法を切り替えることができます。
自動検索で電波が強いチャンネルのみ記録する場合はLOCを選択してください。
自動検索で電波が弱く、検索ができない場合はDXを選択してください。
・ Localモード：周波数（放送局）サーチを行うと、ノイズの多い周波数（放送局）をスキップして、受信レベルの強い周波数（放送局）のみをサーチします。
・ DXモード：ノイズの多い周波数（放送局）もサーチします。そのため、サーチできる周波数（放送局）はLocalモードよりも多くなります。
(工場出荷時：DX)

ラジオを聴く(つづき)

- 3 時刻表示
現在の時刻を表示します。
- 4 リストボタン
リストにプリセットされた放送局（1～6）をタッチして選局できます。
FMは最大 18チャンネル、AMは12チャンネルをプリセットできます。
- 5 プリセットリストボタン
リストにプリセットされた放送局（1～6）をタッチして選局できます。
- 6 コントロールパネルオープン/クローズボタン
コントロールパネルの開閉ができます。
- 7 前へボタン
短くタッチすると、現在の周波数より低い周波数に切り替えます。
※FM=0.1Step、AM=9Step
長くタッチすると、現在の周波数より低い周波数を自動的にサーチします。
- 8 プリセットスキャンボタン
タッチすると、自動的にスキャンを行います。
受信レベルが強い6つの周波数（放送局）を自動的にプリセットします。
※オートスキャンが完了すると、プリセットされていたリストが上書きされます。
- 9 次へボタン
短くタッチすると、現在の周波数より高い周波数に切り替えます。
※FM=0.1Step、AM=9Step
長くタッチすると、現在の周波数より高い周波数を自動的にサーチします。
- 10 Bandボタン
バンドを切り替えることができます。
※FM1/FM2/FM3/AM1/AM2
- 11 受信中Band表示
選択しているバンドを表示します。
- 12 受信周波数表示
受信中の周波数が表示されます。
- 13 保存ボタン
お好みの放送局を受信したとき、このボタンをタッチしてプリセット画面に入ります。
P1～P6の任意の場所をタッチすると、その場所に保存できます。
- 14 Gotoボタン
任意の周波数をダイレクトサーチします。入力可能な周波数は以下となります。
・ FM=76～95 (MHz)
・ AM=522～1629 (kHz)
例) FMの79.5MHzをサーチしたい場合
バンドをFMに切り替え、テンキーで「7」→「9」→「5」と入力し、「OK」をタッチします。
- 15 EQ ボタン
(詳しい内容は P30 を参照してください。)

メディアを再生する

DVDの再生画面

DVDが挿入されている場合、メインメニュー画面の「DISC」アイコンをタッチすると、DVD画面が表示されます。

- コントロールパネルについて
操作をしない状態が約5秒続くと、コントロールパネルが非表示となります。コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。
- 走行規制について
走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。停車中でパーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

DVD基本画面1



DVD基本画面2



メディアを再生する(つづき)

- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 チャプターNo.
再生しているチャプター番号を表示します。
- 3 時刻表示
現在の時刻を表示します。
- 4 プログレスバー
再生時間をバー表示します。任意の場所をタッチすると、早送り/早戻しができます。
- 5 コントロールパネルオープン/クローズボタン
コントロールパネルの開閉ができます。
- 6 EQ ボタン
(詳しい内容はP30を参照してください。)
- 7 前へ / 早戻しボタン
短押し＝前のチャプターへもどります。
長押し＝タッチし続けると早戻しされます。長押しするたびに早戻し速度が切り替わり、再度「再生」ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。
※ 切替速度：×2、×4、×8、×16、×32
- 8 一時停止 / 再生ボタン
- 9 次へ / 早送りボタン
短押し＝次のチャプターへもどります。
長押し＝タッチし続けると早送りされます。長押しするたびに早送り速度が切り替わり、再度「再生」ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。
※ 切替速度：×2、×4、×8、×16、×32
- 10 Gotoボタン
10キーボード画面が表示されます。
▼タグをタッチするたびに、「Chapter」、「Title」、「Time」モードになります。
再生したいチャプター番号/タイトル番号/時間を10キーで入力します。



⚠ ご注意

※ ディスクによっては、字幕ボタン、情報ボタン、サーチボタンは表示されない場合があります。

メディアを再生する(つづき)

- 11 メニューボタン
再生中このボタンをタッチすると、タイトルメニューの画面が表示されます。
※ タイトルメニューが表示されないディスクもあります。
- 12 A-Bリピート（区間リピート）ボタン
特定の場所を繰り返し視聴したい場合に使用します。
開始したい場所でこのボタンを一回タッチし、終了したい場所で再度このボタンをタッチします。
指定した区間の再生を繰り返します。
- 13 音声ボタン
ディスクに2種類以上の音声または音声言語が収録されている場合、再生中に音声を切り替えることができます。
※ ディスクにより音声切り替えがない場合があります。
※ 音声の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- 14 字幕ボタン
タッチするたびに、字幕言語が切り替わります。
字幕をOFFにしたい場合は、字幕が非表示になるまで「字幕」ボタンをタッチしてください。
※ ディスクにより字幕言語切替ができない場合があります。
※ 字幕言語の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- 15 リピートボタン
タッチするたびに、「チャプターリピート」、「タイトルリピート」、「全リピート」、「リピートOFF」の順番で切り替わります。
- 16 画質調整ボタン
画面の画質を調整することができます。



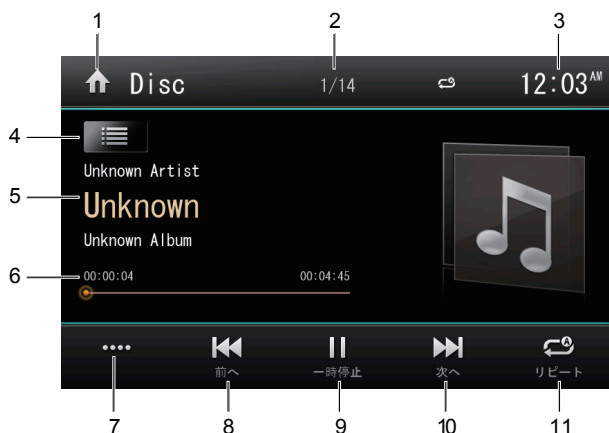
- 17 画質調整の設定を初期化（工場出荷状態）できます。
（工場出荷時：明るさ＝12、コントラスト＝7、彩度＝9、色調＝8）

メディアを再生する(つづき)

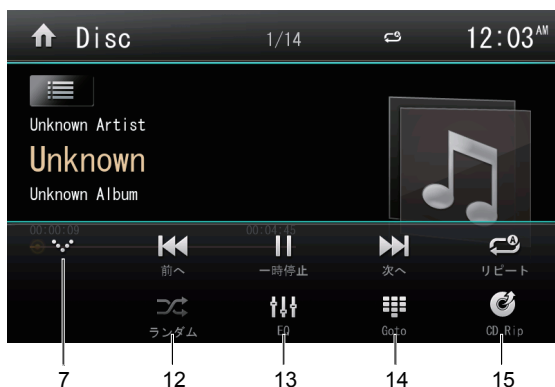
CDの再生画面

CDが挿入されている場合、メインメニュー画面の「DISC」ボタンをタッチすると、CD画面が表示されます。

CD基本画面1



CD基本画面2



- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 トラックNo.
再生しているトラック番号を表示します。

メディアを再生する(つづき)

- 3 時刻表示
現在の時刻を表示します。
- 4 Listボタン
リスト画面に切り替えます。
- 5 情報表示
CD-Rなどメディア情報（タグデータ）が書き込まれたディスクの場合、アーティスト名/アルバム名/曲名が表示されます。
※ディスク情報がない場合は「Unknown」表示されます。
- 6 プログレスバー
再生時間をバー表示します。任意の場所をタッチすると、早送り/早戻しができます。
- 7 コントロールパネルオープン/クローズボタン
コントロールパネルの開閉ができます。
- 8 10 前へ / 次へボタン
再生中に「前へ」または「次へ」ボタンをタッチすると、前のトラックまたは次のトラックに切り替わります。
- 9 再生 / 一時停止ボタン
再生中にタッチすると、一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生されます。
- 11 リピートボタン
タッチするたびに、リピートの種類を切り替えることができます。
※トラックリピート/全リピート/リピートOFF
- 12 ランダムボタン
タッチするたびに、ランダムのON/OFFを切り替えることができます。
- 13 EQ ボタン
(詳しい内容は P30を参照してください。)
- 14 Gotoボタン
10キーボード画面が表示されます。再生したいトラック番号を入力して「OK」ボタンをタッチすると、指定したトラックを再生します。
- 15 CD Ripボタン
CDからUSBメモリーへリッピング（録音）することができます。リッピングモードは「1曲」と「全曲」から選択することができます。

ご注意

- ※ この機能を使用するときは USB メモリーが必要です。USB メモリーと本機を接続完了してから操作ができます。
- ※ リッピング中は他の操作をしないでください。

メディアを再生する(つづき)

CD Ripボタンをタッチすると、以下のリッピング開始確認画面が表示されます。

リッピング開始確認画面



- 1 1曲ボタン
このボタンをタッチすると、現在聞いている曲をUSB メモリーに書き込みできます。
- 2 全曲ボタン
このボタンをタッチすると、CDの全曲がUSBメモリーに書き込みできます。
- 3 キャンセルボタン
リッピング開始をキャンセルします。

リッピング中画面



- 1 情報表示
書き込み中の曲目／全体の曲数が表示されます。
- 2 書き込みの状況が表示されます。
- 3 このボタンをタッチすると、書き込み中の内容をキャンセルできます。

メディアを再生する(つづき)

SD/USBリスト画面

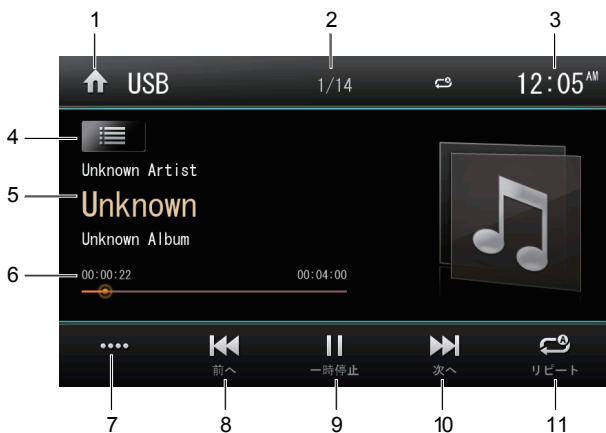


- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 ミュージックボタン
USBメモリーにあるミュージックファイルが表示されます。
再生したいファイル名を選択すると、基本画面に切り替わり再生が始まります。
- 3 ビデオボタン
USBメモリー内にあるビデオファイルが表示されます。
再生したいファイル名を選択すると、基本画面に切り替わり再生が始まります。
- 4 ピクチャーボタン
USBメモリーにあるピクチャー（静止画）ファイルが表示されます。
再生したいファイル名を選択すると、基本画面に切り替わり再生が始まります。
- 5 曲ボタン
USBメモリー内にあるミュージックファイルが表示されます。
- 6 ファイルボタン
USBメモリーにあるすべてのフォルダとファイルを表示します。
再生したいファイル名を選択すると、基本画面に切り替わり再生が始まります。

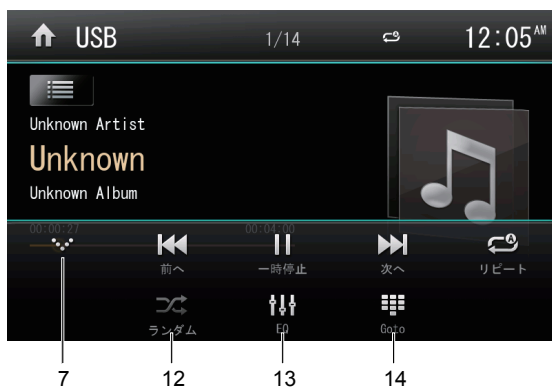
メディアを再生する(つづき)

SD/USBミュージック

SD/USBミュージック基本画面1



SD/USBミュージック基本画面2



- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 ファイルNo.
再生しているファイル番号を表示します。

メディアを再生する(つづき)

- 3 時刻表示
現在の時刻を表示します。
- 4 リストボタン
リスト画面に切り替わります。
- 5 情報表示
再生されているファイル情報が表示されます。
※ファイルにデータ（タグ）情報がない場合は「Unknown」表示されます。
- 6 プログレスバー
再生時間をバー表示します。任意の場所をタッチすると、早送り/早戻しができます。
- 7 コントロールパネルオープン/クローズボタン
コントロールパネルの開閉ができます。
- 8 10 前へ / 次へボタン
再生中に「前へ」または「次へ」ボタンをタッチすると、前のファイルまたは次のファイルに切り替わります。
- 9 再生/一時停止ボタン
再生中にタッチすると、一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生されます。
- 11 リPEATボタン
タッチするたび、にリピートの種類を切り替えることができます。
※全リピート/フォルダリピート/1曲リピート/リピートOFF
- 12 ランダムボタン
タッチするたびに、ランダムのON/OFFを切り替えることができます。
- 13 EQボタン
(詳しい内容は P30 を参照してください。)
- 14 Gotoボタン
10キーボード画面が表示されます。再生したいファイル番号を入力して「OK」ボタンをタッチすると、指定したファイルを再生します。

メディアを再生する(つづき)

SD/USBビデオ

- コントロールパネルについて
操作をしない状態が約5秒続くと、コントロールパネルが非表示となります。コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。
- 走行規制について
走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。停車中でパーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

SD/USBビデオ基本画面1



SD/USBビデオ基本画面2



- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 ファイルNo.
再生しているファイル番号とファイル名を表示します。

メディアを再生する(つづき)

- 3 時刻表示
現在の時刻を表示します。
- 4 コントロールパネルオープン/クローズボタン
コントロールパネルの開閉ができます。
- 5 EQ ボタン
(詳しい内容は P30をご参照してください。)
- 6 前へ/早戻しボタン
短押し=前のチャプターへもどります。
長押し=タッチし続けると早戻しされます。長押しするたびに早戻し速度が切り替わり、再度「再生」ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。
※切替速度：×2、×4、×8、×16、×32
- 7 再生/一時停止ボタン
再生中にタッチすると、一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生されます。
- 8 次へ/早送りボタン
短押し=次のチャプターへもどります。
長押し=タッチし続けると早送りされます。長押しするたびに早送り速度が切り替わり、再度「再生」ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。
※切替速度：×2、×4、×8、×16、×32
- 9 Gotoボタン
10キーボード画面が表示されます。再生したいタイトル番号を入力して「OK」ボタンをタッチすると、指定したタイトルを再生します。
- 10 リストボタン
リスト画面に切り替わります。
- 11 リpeatボタン
タッチするたびに、リピートの種類を切り替えることができます。
※全リピート/フォルダリピート/1曲リピート/リピートOFF
- 12 画質調整ボタン
画面の画質を調整することができます。



- 13 このボタンをタッチすると、画質調整の設定を初期化（工場出荷状態）できます。
(工場出荷時：明るさ=12、コントラスト=7、彩度=9、色調=8)

メディアを再生する(つづき)

SD/USBピクチャー

- コントロールパネルについて
操作をしない状態が約5秒続くと、コントロールパネルが非表示となります。コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。
- 走行規制について
走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。停車中でパーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

SD/USBピクチャー基本画面1



SD/USBピクチャー基本画面2



- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 ファイルNo.
再生しているファイル番号とファイル名を表示します。

メディアを再生する(つづき)

- 3 時刻表示
現在の時刻を表示します。
- 4 コントロールパネルオープン/クローズボタン
コントロールパネルの開閉ができます。
- 5 リストボタン
リスト画面に切り替わります。
- 6 8 前へ/次へボタン
再生中に「前へ」または「次へ」ボタンをタッチすると、前のファイルまたは次のファイルに切り替わります。
- 7 再生/一時停止ボタン
再生中にタッチすると、一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生されます。
- 9 Gotoボタン
10キーボード画面が表示されます。再生したいファイル番号を入力して「OK」ボタンをタッチすると、指定したファイルを再生します。
- 10 拡大ボタン
映像画面を拡大します。タッチするたびに「拡大×2」→「拡大×3」→「拡大×4」→「ノーマル」の順番で切り替わります。
- 11 回転ボタン
タッチするたびに画像が回転します。
- 12 画質調整ボタン
画面の画質を調整することができます。

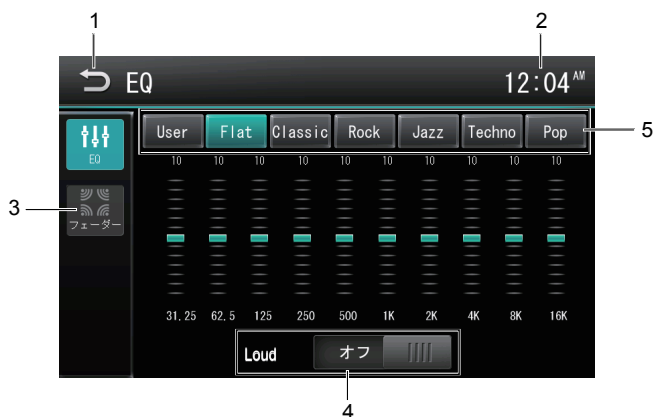


- 13 このボタンをタッチすると、画質調整の設定を初期化（工場出荷状態）できます。（工場出荷時：明るさ=12、コントラスト=7、彩度=9、色調=8）

オーディオ設定

EQ設定

メインメニューの「オーディオ」ボタンや各画面の「EQ」ボタンをタッチした場合、以下のEQ（イコライザー）設定画面に切り替わります。



- 1 Backボタン
前の画面に戻ります。
- 2 時刻表示
現在の時刻を表示します。
- 3 フェーダーボタン
フェーダー・バランス設定画面に切り替わります。
- 4 Loudボタン
ラウドネス（低音）を調整します。
 - ・設定範囲：オン/オフ
 - ・工場出荷時：オフ
- 5 EQプリセットモードボタン
各プリセットをタッチすることでイコライザーを選択することができます。
お好みのイコライザー設定にする場合は「User」を選択し、各周波数のメモリをタッチして調整します。

<EQプリセット>

User/Flat/Classic/Rock/Jazz/Techno/Pop

オーディオ設定(つづき)

フェーダー/バランス、サブウーファー設定

■ フェーダー・バランス設定

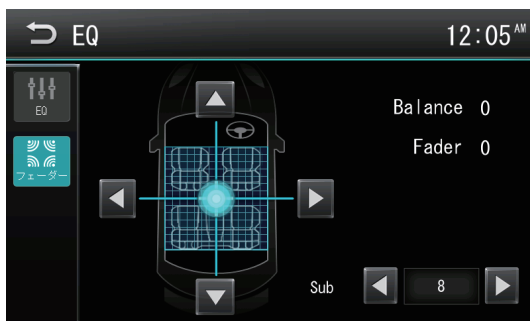
上下左右の各ボタンをタッチすることで、前後左右のスピーカーバランスを調整することができます。

- ・ 設定範囲＝前後：-20～20、左右：-20～20
- ・ 工場出荷時：0

■ サブウーファー設定

Sub◀▶ボタンをタッチすることで、サブウーファーのレベルを調整することができます。

- ・ 設定範囲＝-12～12
- ・ 工場出荷時：8



本体設定

一般設定

メインメニューの「AV・本体設定」ボタンをタッチして、本体設定画面に入ります。

一般設定画面1



一般設定画面2



1 LCD OFF

このボタンをタッチすると、液晶画面を非表示にできます。10秒後オフ/20秒後オフ/オフを選択できます。10s/20sを選択する場合、液晶画面が10秒後/20秒後非表示になります。オフを選択する場合、液晶画面が常時表示になります。
(工場出荷時：オフ)

2 ディマー

2回タッチして液晶画面の明るさを設定できます。
設定モードは以下の通りです。

- ・ナイト
- ・ダーク
- ・ノーマル
- ・ブライト

(工場出荷時：ノーマル)

3 キーカラー

本体のキーイルミネーションを「ホワイト」、「ブルー」から選択することができます。

(工場出荷時：ホワイト)

本体設定（つづき）

- 4 時計表示
「ON」：映像画面に時計を表示します。
「OFF」：映像画面に時計を表示しません。
（工場出荷時：ON）
- 5 ページ送り・戻し
タッチすると、リスト項目が上下にスライドします。
- 6 ビープ音（操作音）
ON/OFFのスライドスイッチで設定を切り替えます。
（工場出荷時：ON）
- 7 SWC（ステアリングコントロール）
SWC設定画面（図3）の各機能をステアリングリモコンに割り当てることができます。
お好みの割り当て設定が完了すると、ステアリングリモコンから「再生」や「音量調整」などを操作することができます。
<設定方法>
1. 本体とステアリングリモコンの接続を確認してください。
2. 「SWC」リストをタッチすると、SWC設定画面に切り替わります（図3）。

図3



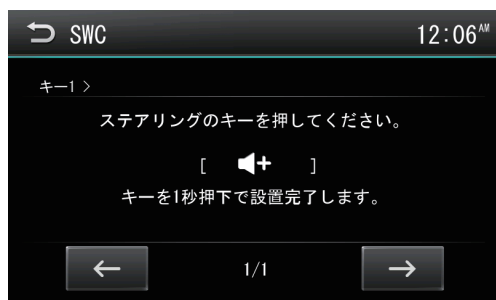
3. 1～6までの数字をタッチします（最大6つまでのキー割り当てが可能）。
4. ステアリングリモコンに割り当てをしたい機能のボタンを選択します。
5. 「ペア」をタッチして、割り当てを決定します。

例：

- a 数字ボタン **1** をタッチします。タッチするとボタンが明るくなります。
- b 機能ボタン **音量+** をタッチします。タッチするとボタンが明るくなります。
- c ボタン **ペア** をタッチすると図4に入ります。

本体設定（つづき）

図4



- d ペア画面の説明に従ってステアリングコントロールのボタン  を一秒程押してペアリングが完了したあとと離します。

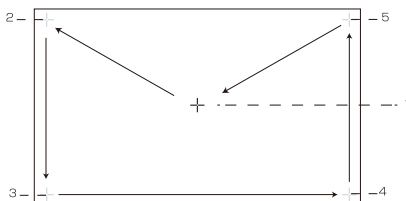
- ※ 1~6まで最大6個操作方法を保存できます。先程の例に従いそれぞれ設定してください。

ご注意

- ※ 車種により、「ステアリングコントロール1」ケーブルで接続して設定できない場合があります。設定できない場合には「ステアリングコントロール2」ケーブルで接続してください。
- ※ 車種により対応できないキーがあります。

- 8** タッチ補正の操作画面が表示されます。
「スタート」をタッチして。「はい」を選択すると、補正します。

1. タッチ座標の十字ポイントの中心を約2秒タッチすると、位置2に移動します。位置2で再度十字ポイントの中心を約2秒タッチすると、位置3に移動します。位置3、位置4、位置5で同じ動作を繰り返します。タッチの補正が完了すると、十字ポイントの表記が消えますので、その後画面をタッチして設定画面に戻ります。



- ※ 補正が完了するまでに、上記動作を数回繰り返すことがあります。

- 9** 出荷状態に戻す
工場出荷状態に戻すことができます。

ご注意

- ※ TVとナビゲーションの初期化はできません。TVとナビゲーションの初期化は、TVモードとナビモードの設定画面で行ってください。

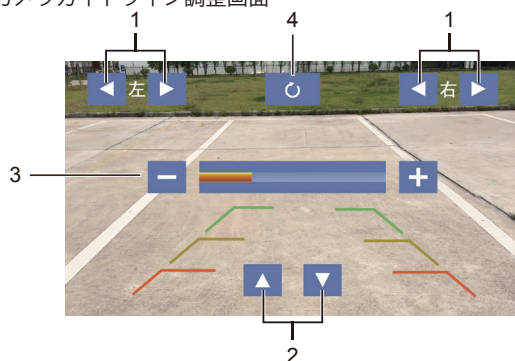
本体設定（つづき）

ビデオ設定



- 1 アスペクト比
画面サイズを「16:9」、「4:3」に切り替えることができます。
※DISCやファイルによっては切り替わらない場合もあります
(工場出荷時：16:9)
- 2 リアカメラ設定
バックカメラの表示をノーマル表示とミラー表示に切り替えることができます。
(工場出荷時：ノーマル)
- 3 バックガイドライン設定
バックカメラガイドラインのON/OFF設定ができます。
※バック（リバース）信号がONの時に設定ができます（バックカメラガイドライン調整画面参照）
(工場出荷時：OFF)

バックカメラガイドライン調整画面



1. 車幅線調整ボタン
ガイドラインの車幅を調整できます。
2. STOP線調整ボタン
STOP線（赤）の位置を調整できます。
3. 明るさ調整ボタン
画面の明るさを調整できます。
4. ガイド線リセットボタン
調整したガイド線が工場出荷状態に戻ります。

本体設定（つづき）

4 ナビガイド割り込み設定

ナビゲーションのルート案内中にAV画面へのガイド割り込みON/OFF設定と2画面表示機能（ナビ/テレビ画面同時表示）を設定します。

・ナビガイド割り込みON＝ナビゲーションの誘導音声および交差点拡大図などのナビ画面割り込みをします。

※本機能をONにした場合、2画面同時表示機能は使用できません

・ナビガイド割り込みOFF＝ナビゲーションの誘導音声のみ割り込みします。

※本機能をOFFに設定した場合、2画面同時機能が使用できます

（工場出荷時：OFF）

5 2画面同時表示(PIP機能)

ナビ画面とテレビ画面を同時に表示することができます。本機能が使用できる状態になると、図1のようにナビ画面左側に「テレビ」ボタンが表示されます。

※「テレビ」ボタン表示条件

地図上で自車位置を正しく表示している場合（現在地表示されている場合）のみで、地図をスクロールしている時は表示されません。

図 1



「テレビ」ボタンをタッチすると、2画面表示機能が使用できます。（図2）
分割画面の状態で地図画面部分を「タッチ」またはテレビ画面の「×」ボタンをタッチすると、ナビゲーション全画面に切り替えることができます。

図 2



本体設定（つづき）

時間設定



- 1 日付
本体の日付を調整します。右側の日付をタッチして日付設定ができます。
年/月/日の順番で、▲▼をタッチして調整します。設定が終わってから保存をタッチして保存します。（工場出荷時：2017年1月1日）

※ GPS時間同期がOFFの場合のみ調整できます。

- 2 12/24時間表示
12時間表示形式と24時間表示形式を切り替えます。
（工場出荷時：12時間）

- 3 時間
本体の時間を調整します。右側の時間をタッチして、時間設定できます。
時/分の順番で、▲▼をタッチして調整します。設定が終わってから保存をタッチして保存します。

※ GPS時間同期がOFFの場合のみ調整できます。

- 4 GPS時間同期
GPS時間同期のON/OFFを設定します。
「ON」： オンにするとGPSの時間が反映されますので、ナビ画面での時計と本体での時計が同じ時刻で表示されます。
「OFF」： 本体の時計をGPSと同期しません。独立して時計設定ができます。
（工場出荷時：ON）

※ 初めて使用する時、ナビゲーションのモードでGPS受信に通じて時間同期してください。

本体設定（つづき）

サウンド設定



- 1 Sub Woofer
サブウーファー出力のオン/オフの設定ができます。
- 2 Sub Woofer Filter
サブウーファーフィルターを80Hz、120Hz、160Hzの三つの周波数から選択できます。

言語設定



- 1 本体言語設定
本機の言語を設定できます。設定が完了するとメインメニュー画面に切り替わります。
設定言語は以下の通りです。
・日本語
・英語
(工場出荷時：日本語)
※ナビゲーションの言語は設定できません

本体設定（つづき）

- 2 DVD音声
日本語/英語を選択できます。（工場出荷時：日本語）
- 3 DVD字幕
日本語/英語を選択できます。（工場出荷時：日本語）
- 4 DVDメニュー
日本語/英語を選択できます。（工場出荷時：日本語）

DVD設定



- 1 パスワード設定
ペアレンタルコントロールのパスワードを設定する時に使用します。



本体設定（つづき）

- パスワード設定方法
パスワードを入力し、「OK」ボタンをタッチすると、パスワードを設定することができます。
- パスワードを忘れた場合
強制キャンセルパスワード＝4321を入力します。
（工場出荷時：パスワードがありません）

2 Rating Level設定

パレンタル（視聴制限）レベルを設定します。
DVDのパレンタルレベルの制限内容は国によって異なります。

Kid Safe	子供向け
G	一般向け
PG	保護者の手引きが必要
PG-13	保護者の厳重な注意が必要
PG-R	保護者の制限が必要
R	保護者の同伴が必要
NC-17	17歳未満は鑑賞禁止
Adult	成人向け

（工場出荷時：Adult）

ご注意

- ※ 視聴制限が設定されたディスクを再生する時にパスワードの入力画面が表示されることがあります。この場合は正しいパスワードを入力しないと、再生は開始しません。
- ※ 安全のために、初期化してもパレンタルコントロールのパスワードと Rating Level は初期化しません。

本体設定（つづき）

音量設定



■ ソース別音量調整

ソースを切り替えた際、ソース毎に音量差が出ないように音量補正をすることができます。

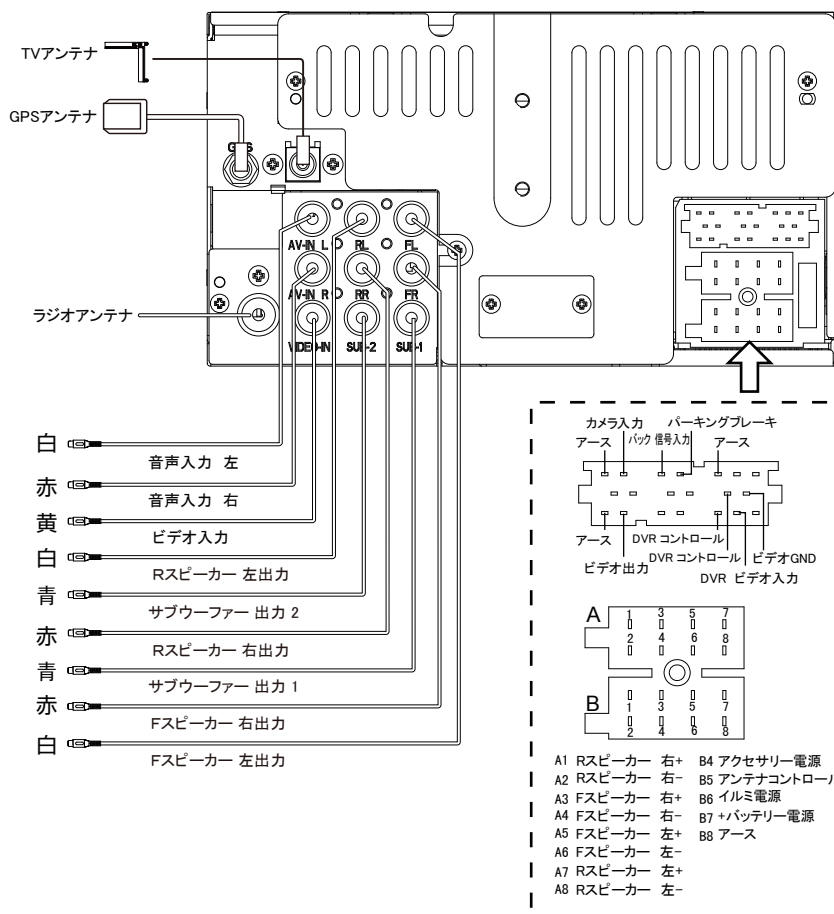
個別に調整可能なソースは以下の通りです。

- ・ナビゲーション（ガイド音声）
- ・DTV
- ・FM/AM
- ・DISC
- ・SD
- ・USB
- ・AUX
- ・VTR

ソース別レベルは、0～12（13ステップ）で調整することができます。
（工場出荷時：6）

電源、ケーブルの接続方法

電源、ケーブルの接続方法



電源、ケーブルの接続方法(つづき)

GPSアンテナの取り付け

GPSアンテナは車内専用となります。
GPSアンテナは車載機器（※1）および各アンテナ類（※2）から50cm以上離して設置してください。
車載機器や各アンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しにくくなったり、誤動作を起こす可能性があります。

※1 ETC車載器、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど

※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど



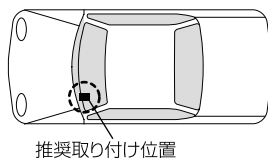
⚠ ご注意

必ず付属のプレートをアンテナの下に敷いてご使用ください。

ダッシュボードに取り付ける場合

1. 取り付け面の汚れ、油をふき取る
2. 鉄プレートをアンテナの下に貼り付ける
3. アンテナセットを取り付ける
※アンテナは電波の遮られにくい水平な場所に設置してください。

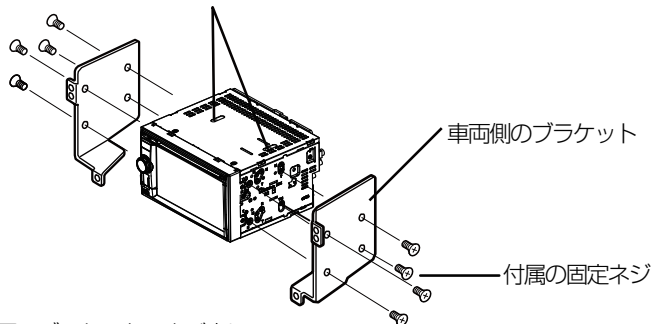
電波の遮られにくい、平らな場所に設置してください。



本体の設置方法

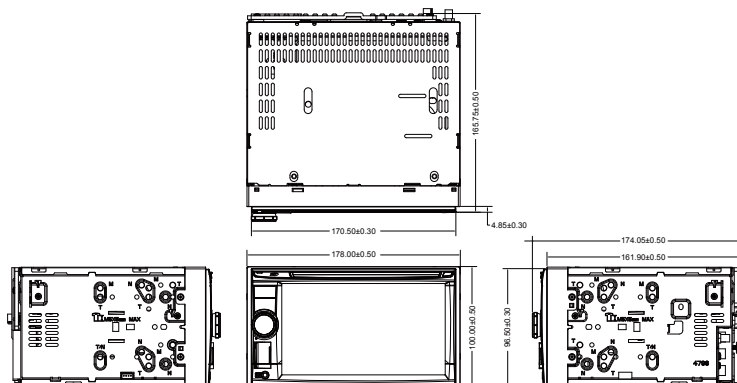
本体の設置方法

1. 初めに輸送用固定ネジ2か所を外します。



2. 車両に付属のブラケットのネジ穴に合わせて取付位置を選び、付属の固定用ネジで取り付けます。
3. 車両の元の位置に取り付けします。
 - ※ 取り付けは水平に対して、30度以下の角度に取り付けてください。
 - ※ フェイスパネルの形状によっては、可動部分が干渉する可能性があります。慎重に確認のうえ、取り付けてください。
 - ※ フェイスパネル（ワイドパネル）、ブラケットの形状によっては、付属のネジで取り付けられないことがあります。付属の固定ネジ以外で取り付ける場合は、ネジ部を5mm以上ねじ込まないでください。

本体の外形寸法図



フィルムアンテナについて

次のようなところでは、映りにくいまたは映らないことがあります

- ビルとビルの間を走行または停車している場合
- 上空を飛行機または電車が近くを通過している場合
- 送電線の付近を走行している場合
- テレビ局の電波塔から遠いところを走行している場合
- 山かげや木立の陰に入って走行している場合
- トンネル内や鉄橋を走行している場合
- 地下や高架下等を走行または停車している場合
- ラジオ、アマチュア無線/業務用無線の送信アンテナの近くを走行、または自ら発信しているとき
- 車両搭載機器（※）が作動している場合、ノイズは発生し、アンテナレベルが低下することがあります。
 - ※ 電動ドアミラー/パワーウィンドウ/エアコン/HIDランプ/電動カーテン/電動サンルーフ/ドライブレコーダー/レーダー探知機/車載用モニターなど

貼り付ける際の注意点

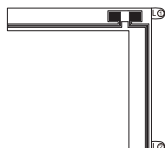
- フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- ガラスを拭くなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカー剥がし剤を使わないでください。破損の原因となります。
- 一度貼り付けると、エレメントの素子破損や粘着力が低下するため、貼り直しできません。アンテナを貼る前に必ずコード及びアンテナを仮止めし、コードの引きまわしなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置、寸法内に正しく貼り付けてください。
- サイドガラスやリアガラスには貼らないでください。
- フロントウィンドウ（内側）の汚れ（ゴミ、ホコリ、油など）や、くもり止めや水分などをアルコール等できれいにふき取ってください。ガラス面が乾かないうちは貼り付けしないでください。また、市販の界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- フィルムアンテナやはくり紙などを剥がした面には手で触れないでください。また長時間の放置はしないでください。汚れや汗または静電気による故障や接触不良の原因になります。
- ガラス面が結露したり気温が低いときは貼りつかなくなります。湿度が高いときはエアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどで貼り付け部分を暖めて、結露しないことを確認してから貼り付けてください。

フィルムアンテナの構成

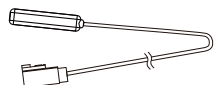
1 セット部品一覧

※ 本製品はフィルムアンテナが 1 セット付属しています。

フィルムアンテナ



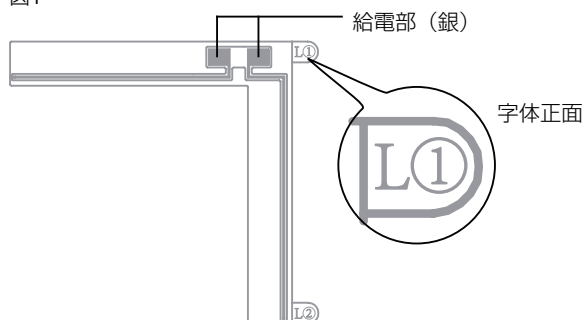
アンテナケーブル（アンプ付き）



2 フィルムアンテナ構造

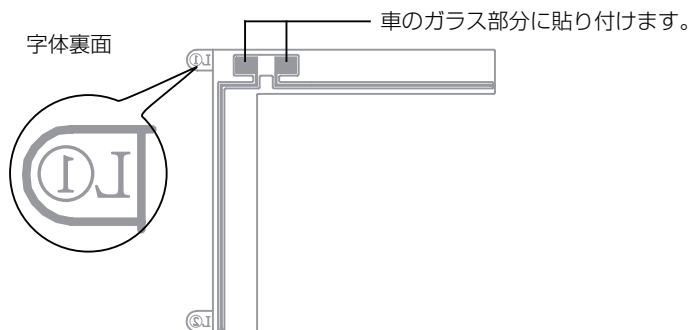
車側：「L①」の文字が通常に確認できる面が車の内側になります。

図1



フロントガラス側：「L①」の文字が反対になる面がフロントガラス側になります。

図2

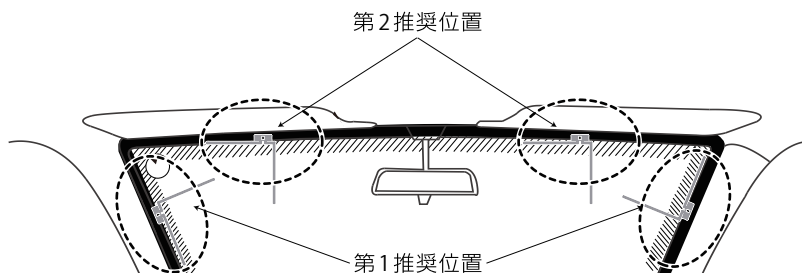


貼付位置について

- アンテナは点検シール、検査標章などに重ねないでください。
- 受信感度低下を防ぐために、他のアンテナや ETC 受光部から2センチ以上離して貼り付けてください。
- アンテナの給電部及びアンプ部は、セラミックラインライン上または、内張りに重ねないように、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。

第1推奨位置は以下の通りです。

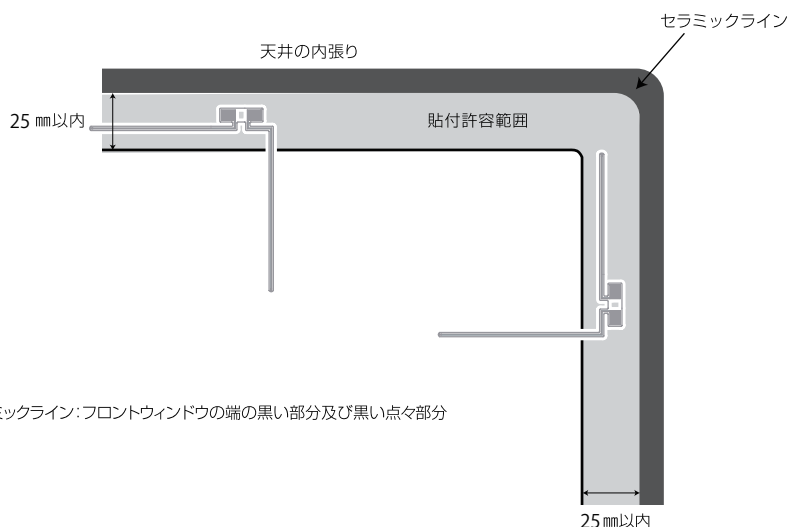
第2推奨位置は以下の通りです。



■ 貼付許容範囲

フィルムアンテナの給電部及びアンプ部は、必ず許容範囲内に貼り付けてください。

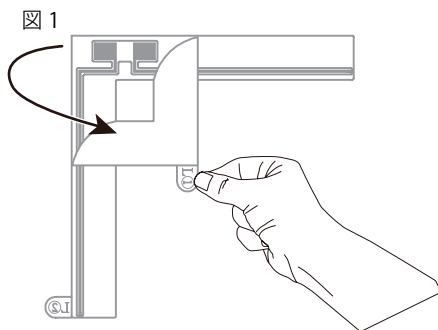
貼付許容範囲：セラミックラインより内側に25mm以内の範囲



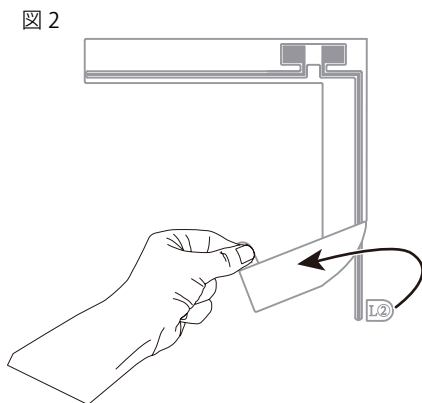
※セラミックライン：フロントウィンドウの端の黒い部分及び黒い点々部分

フィルムアンテナを貼り付ける

- 1 フィルムアンテナ L ①を持って、セパレーターを剥がして、予め決めた位置に貼付けてください。



- 2 フィルムアンテナ全体をなぞるようにして、ガラス面に密着させてください。
- 3 フィルムアンテナ正面の L ②を持って、セパレーターを剥がしてください。

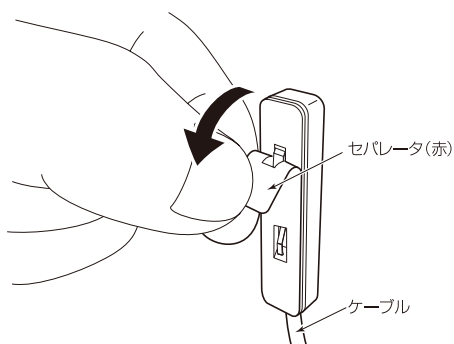


⚠ ご注意

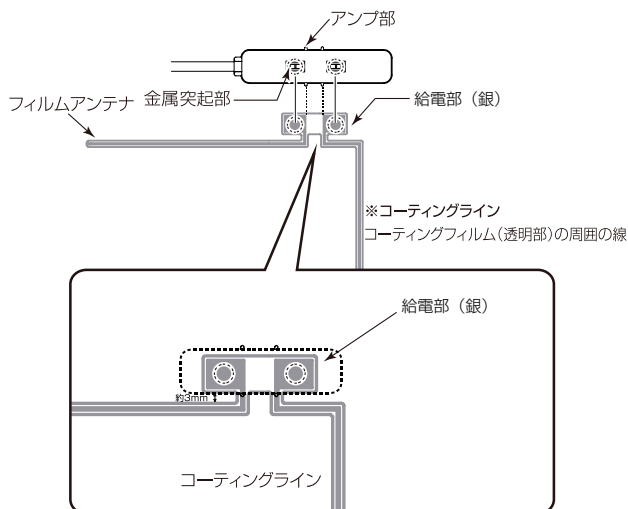
※ フィルムアンテナの貼り直しは、粘着力が弱くなるほか、アンテナ自体が破損する恐れがあるため、お止めください。

アンプホルダーを給電部に貼り付ける

- 1 アンプホルダー裏面のはくり紙を剥がします。



- 2 給電部にアンプホルダーを貼り付けてください。
アンプホルダーの突起部と銀色の給電部が合うように貼り付けます。
アンプ部の2つの突起を、アンテナラインに並ぶように貼り付けてください。



アンテナケーブルを固定する

付属のアンテナ止めテープで、ケーブルを固定してください。

※アンテナ線は引っ張らないでください。アンプホルダーに負荷がかかり、外れる原因となることがあります。

警告

- ・ピラーにエアバックが装着されて車両では、エアバッグの妨げにならないところに配線してください。
- ・車両のペダル付近には配線しないでください。
- ・運転の妨げにならない場所に配線してください。

アンテナ端子を接続する

アンテナ端子を本体に接続してください。

トラブルシューティング

トラブルシューティング 一般項目

症状	原因	こうしてください
電源が入らない	電源ケーブルは正しく接続されていますか？ ヒューズは切れていませんか？ 他の機器のノイズを受けていませんか？	配線を確認してください ヒューズを交換してください(15A) 本機から他の機器を離してください
タッチパネルが反応しない 反応がわるい	タッチパネルの補正は行いましたか？	タッチパネル補正を行ってください
再生できない	ディスクが汚れていませんか？ この機器に対応したディスクですか？ ディスクが正しく挿入されていますか？	ディスクをクリーニングしてください ディスクを確認してください ディスクの向きを確認してください
音が出ない	ミュートになっていませんか？ 配線は正しいですか？	ミュートを解除してください 配線を確認してください
音量が小さい	ボリュームが小さくないですか？	音量を上げてください
前または後ろのスピーカー から音が出ない	前後のバランスは0になっていますか？	オーディオ設定のBalance設定を確認 してください
左または右のスピーカー から音が出ない	左右のバランスは0になっていますか？	
液晶のドット欠け		液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られており、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合がありますが、これは故障ではありません。

トラブルシューティング FM/AM

症状	原因	こうしてください
電波が受信できない	アンテナは接続していますか？ LOC/DX 機能は 設定しましたか？	アンテナを接続してください DXを選択してください

トラブルシューティング (つづき)

DISC/USB/SD

症状	原因	対処方法
再生できない	メニュー画面でチャプター選択の画面ではないですか？	チャプターを選択してください
画面が映らない	パーキング線は接続されていますか？	パーキング線の接続を確認してください
音が出ない	画像を再生中ではないですか？ ボリュームは小さくないですか？ ミュートになっていませんか？ AUDIO OFF 機能をOFFにしていますか？	他のモードに切り替えてください ボリュームを上げてください ミュートを解除してください AUDIO OFF 機能をOFFにしてください。
言語と字幕を変更できない	ディスクに2種類以上の言語/字幕が入っていますか？	複数言語/字幕対応のディスクをご使用ください
ディスク再生中ノイズが大きい・回転音が大きい	ディスクに傷や曲がりはないですか？ ディスクは汚れていませんか？ ディスクは本機に対応していますか？	ディスクを交換、確認してください
MP3 再生中、ノイズが大きい 再生できない	フォーマットは正しいですか？ 圧縮は正しく行われていますか？	対応フォーマットを確認してください
メディア再生中、順番が異なる	ファイル名の半角、全角、数字は正しいですか？	ファイル名を確認してください

DTV

症状	原因	対処方法
テレビが映らない テレビの映りがわるい	アンテナを接続していますか？ アンテナ同軸ケーブルは接続していますか？ チャンネルスキャンはしていますか？ アンテナの貼り付け位置は正しいですか？ 電波のわるい場所を走行してはいませんか？	アンテナを接続してください アンテナ同軸ケーブルを接続してください チャンネルスキャンをしてください 正しい位置に貼り付けてください 場所や方向により受信状態は変化します
受信に時間がかかる	電源を入れたときや、チャンネルを切り換えたときではありませんか？	電源を入れたときや、チャンネルを変えたときは、データ取得のため映像を表示するまで時間がかかります
画面にブロックノイズがでる	自動車、電車、高压線、ネオンサインなどから電波の影響を受けていませんか？ 近くにラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナはありませんか？	電波の受けない場所まで移動してください

トラブルシューティング（つづき）

ナビゲーション

症状	原因	対処方法
GPS受信の表示が出ない	アンテナケーブルが接続されていますか？	アンテナケーブルを接続してください
	障害物などにより、GPS衛星の電波の受信を遮っていませんか？	障害物などが無くなれば、受信できます
音声案内が出ない	フェリーなどで大幅に移動しましたか？	走行することにより表示されるようになります
	ナビモードの音声設定で「しない」に設定していませんか？	ガイドボリュームを上げてください ソース別音量を上げてください
地図画面が乱れる	電氣的ノイズを発生する電気機器を本機の近くで使用していませんか？	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。

※ナビゲーションの操作方法については別冊のナビゲーション取扱説明書を参照してください。

本機で利用できるメディアとフォーマットについて

分類	ファイル 形式			メディア			
	ファイル 拡張子	音声形式	映像形式	CD	DVD	USB	SD
オーディオ	.mp3	MP3	—	○	○	○	○
	.wma	WMA	—	×	×	○	○
ビデオ	.avi	MP3	—	○	○	×	×
	.mp4	AAC	MPEG4 visual	○	○	○	○
			MPEG4 AVC	×	×	×	×
	.m4v	AAC	MPEG4 visual	×	×	×	×
			MPEG4 AVC				
	.mpg	MP3	MPEG1	○	○	○	○
			MPEG2	○	○	○	○
	.3gp	AAC AMR	MPEG4 visual H.263	×	×	×	×
	.divx	MP3	DivX 3.11/4/5/6/7	×	×	×	×

○: 再生できます ×: 再生できません

仕様

品名	ワンセグチューナー内蔵メモリーナビゲーション
型番	ANX-D617
ディスプレイ	6.2型TFT LCD LED/バックライト 解像度800×480 (WVGA)
地上波テレビ受信周波数	470MHz～770MHz
FM/AM受信周波数	FM:76MHz～95MHz AM:522kHz～1629kHz
USBメモリ	最大16GBまで対応 (2.0)
SDカード	最大16GBまで対応
使用電源	DC12V (10.8V - 16V)
最大出力	40W×4
スピーカーインピータンス	4Ω
動作温度範囲	-10℃～+60℃
AV IN/OUT	AV IN 1系統 AU OUT 1系統
寸法	約178×100×166mm
本体重量	約 1.8 Kg
マルチメディア	
Video	AVI/MPEG/MP4
Audio	MP3/WMA
対応ディスク	DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW/CD-R/CD-RW/CPRM
付属品	
取扱説明書(本体)	○
取扱説明書(ナビ専用)	○
保証書	○
電源ケーブル	○
スピーカーケーブル	○
DVRコントロールケーブル	○
パーキングブレーキ/バック信号入力ケーブル	○
ステアリングケーブル	○
カメラ入力/ビデオ出力ケーブル	○
GPSアンテナ (固定用3Mテープ付)	○
GPSアンテナ固定用プレート (3Mテープ付)	○
固定用クランパ	○
配線止めクリップ	○
クリーナー	○
地図microSDカード	○
取り付け用ネジ (長 : 8本/短 : 8本)	○
フィルムアンテナ	○

※本機の仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
 ※性能向上の為に本体ソフトウェアの提供は、弊社ホームページwww.innovativesale.co.jpで公開します。

àZur

輸入元:株式会社イノベティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

●お問い合わせはサービスセンターへ

電話…048-970-5027

※電話受付時間(土日祝祭日除く)

平日 9:00~12:00 13:00~17:00

<http://www.innovativesale.co.jp/>